



The
R
e
c
o
r
d

2016
8
august

VOL.681

| 日本全国音楽のまち～川崎編～
| 「第9回 CD ショップ大賞 2017」一次ノミネート作品発表



Monthly News Digest

Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
日本全国音楽のまち〜川崎編〜	3
特報	
「第9回CDショップ大賞2017」 ～行かなきゃ 会えない 音がある。～ 一次ノミネート作品発表	9
ACA・第5回「著作権を守ろう！ ポスターコンクール」作品募集を開始	9
「J-POP SUMMIT 2016」関連動画、 PROMIC.TVで公開中	10
「出張！IPカルチャー教室」内にて 真正品・模倣品展示	10
ヒットの裏側	11
Data File.....	12
Monthly Production Report	13
GOLD DISC	14

6/8

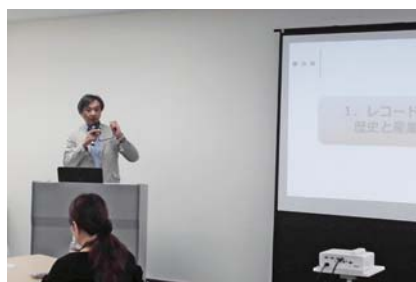
「VIPOアカデミー」で 畑理事・事務局長が講義

6月8日、特定非営利活動法人 映像産業振興機構（VIPO）会議室において「VIPO アカデミー ベーシックコース」（第2期）講座の第4回セミナーが開催された。

本講座は、コンテンツ業界の若手社員が各ジャンルの最新の業界動向・展望と事例を学ぶことにより、ジャンルを超えたコンテンツビジネスを展開できる人材の育成を目的として、同機構が昨年より主催している。今期第4回となるセミナーは「音楽業界完全攻略セミナー」と題し、さまざまなジャンルのコンテンツ企業から約20名の若手社員が参加して開催された。

第1部の講義では当協会の畑理事・事務局長が講師を務め、「レコード産業の構図と現状」と題し、レコード産業の概要やレコードビジネスの国内外の現状および課題、それに対する取り組み等について説明した。第2部の事例研究では、エイベックス・グループ・ホールディングス社とワーナーミュージック・ジャパン社からレコード会社の現場の取り組みや成功事例、未来に向けた展望等が説明された。その後、受講者はいくつかのグループに分かれ、音楽に関する新サービスを考え発表するグループワークを行った。

受講後のアンケートでは、「他ジャンルのコンテンツ業界の現状や課題、



現場の取り組み事例などを学習することができ、非常に有意義なセミナーだった」等の好評価が寄せられた。次期ベーシックコースは今年9月から開講される予定となっている。

6/24

定時総会・第494回理事会開催 役員選任、斉藤会長再任

6月24日、東京都千代田区の霞山会館において、当協会は定時総会および第494回理事会を開催した。当日は、平成27年度の事業報告および決算報告の審議承認が行われた後、役員選任が行われ、理事、監事ともに候補者全員が承認を得て選任された（事業報告書の詳細は、7月号3～6ページ「平成27年度事業報告」に掲載）。

引き続き開催した第494回理事会では、斉藤正明（株）JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント代表取締役社長が会長に再任され、副会長等の選任も行われた。副会長は藤倉尚氏、村松俊亮氏が新たに選任され、重村博文氏、林真司氏が再任となった。会長職、副会長職および顧問の任期は2017年6月の定時総会までの1年間。なお、田口幸太郎氏は専務理事を退任し顧問に就任、新専務理事には原康晴氏が選任された。

●●当協会役員人事●●

■ 再任（6月24日付）

【会長】

斉藤 正明

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント 代表取締役社長

【副会長】

重村 博文

キングレコード株式会社 代表取締役会長

林 真司

エイベックス・ミュージック・クリエイティブ株式会社 代表取締役社長



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

【理事】

吉田 眞市

日本コロムビア株式会社 代表取締役社長

中谷 幸夫

株式会社ティックエンタテインメント
代表取締役会長 兼 社長

和田 康孝

日本クラウン株式会社 代表取締役社長
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
代表取締役社長

吉村 隆

株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長

小林 和之

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
代表取締役社長 兼 CEO

花房 秀治

株式会社バップ 代表取締役 社長執行役員

後藤 豊

株式会社フォーライフ ミュージックエン
タテインメント 代表取締役社長

【常務理事】

高杉 健二

一般社団法人日本レコード協会

【理事・事務局長】

畑 陽一郎

一般社団法人日本レコード協会

【監事】

荻野 伸之

株式会社ヤマハミュージックコミュニケー
ションズ 代表取締役社長

宮澤 憲夫

株式会社ドリーミュージック・代表取締役社長

石田 英遠

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士

【顧問】

依田 巽

株式会社ドリーミュージック・代表取締役会長

北川 直樹

株式会社ソニー・ミュージックエンタテイン
メント 顧問 エグゼクティブ・コーポレート
アドバイザー

■ 新任 (6月24日付)

【副会長】

藤倉 尚

ユニバーサル ミュージック合同会社 社長
兼最高経営責任者

村松 俊亮

株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ
代表取締役 執行役員社長

【専務理事】

原 康晴

一般社団法人日本レコード協会

【顧問】

田口 幸太郎

一般社団法人日本レコード協会

■ 退任 (6月24日付)

【顧問】

稲垣 博司

7/7

第69回RIAJセミナー開催

7月7日、当協会の会議室において、
第69回RIAJセミナーが開催された。

今回のセミナーは、ひかり協同法律
事務所弁護士 三上安雄氏を講師に招
き、「有期労働の実務対応について」
をテーマに実施。当日は、会員社の
HRM、法務部門などを中心に33名
が参加した。

講演では、契約締結時および終了時
の実務対応、労働条件をめぐる実務対
応、高年齢者の再雇用をめぐる実務対
応、パート労働者に関する法規制の要
点、労働者と業務受託者の違いについ
て説明が行われた。

参加者からは、「実際に直面してい
る課題に対し、具体例に基づく分かり
やすい説明で非常に有意義であった」
といった意見が多数寄せられた。

RIAJ2016年7月度理事会議案

■ 審議事項

1. V-Low マルチメディア放送「i-dio」に関する二次使用料契約締結
2. 熊本地震 臨時災害放送局に係る二次使用料減免について
3. Coming Next 2017 開催概要案について

■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件
 - (1) 日本プロ音楽録音賞運営委員会「第23回日本プロ音楽録音賞」主催名義使用依頼
 - (2) PROMIC「Japan Contents Showcase」開催に伴う後援名義使用依頼
2. 平成28年度第1四半期重点施策および予算執行状況について
3. 法制委員会関係報告
 - (1) 文化庁・新たな時代のニーズに的確に対応した制度等の整備に関するワーキングチーム(6/27)報告
4. マーケティング委員会関係報告
 - (1) レンタル問題協議会における交渉状況について
5. その他報告
 - (1) IFPIとの「バリューギャップ」ミーティングについて
 - (2) 常勤役員報酬総額について

●●●当協会事務局人事●●●

■ 異動 (7月1日付)

須貝 あゆみ

管理部部長 兼 広報部部長 兼 人事・総務グループ長 兼 経理グループ長
(前:管理部部長 兼 人事・総務グループ長 兼 経理グループ長)

■ 退社 (6月30日付)

袴 俊雄

広報部部長 兼 専務理事付特命担当部長

熊本地震 被災 CD レンタル店・臨時災害 FM 局への支援について

当協会は、このたびの熊本地震により被害を受けた CD レンタル店ならびに被災地域において被災者支援情報等を提供する臨時災害 FM 局に対し、以下の支援策を実施することを決定いたしました。

- ・ 甚大な被害を受けた熊本県内の CD レンタル店 17 店に対し、2016 年 3・4 月度の CD レンタル使用料の免除
- ・ 上記 17 店を含む熊本、大分県の被災 CD レンタル店への破損 P ケースの費用負担
- ・ 臨時災害 FM 局 4 局に対し、臨時災害放送期間中の CD の放送使用料およびインターネット同時配信使用料の免除

被災地では不便な生活が続いていると思いますが、被災された皆さまのご健康と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

日本全国音楽のまち ～川崎編～

多くの地方自治体が地域おこし・まちづくりに取り組む中、まちづくりに「音楽」の要素を取り入れた地域にスポットを当てながら、地域と音楽を愛する人々、ユニークな施設や事例を紹介するシリーズ第3回。今回は、神奈川県川崎市にフォーカスし、今日までの、そして新たな川崎発の音楽に関する取り組みを紹介する。

神奈川県川崎市 profile

面積：144.35平方キロメートル

人口：1,487,583人（2016年7月1日時点）

川崎市は神奈川県の北東部に位置し、多摩川を挟んで東京都と隣接。7つの区からなる、細長い地形が特徴。

なぜ、川崎が「音楽のまち？」

市内には複数の音楽大学を擁し、市民・企業によるオーケストラや合唱団、吹奏楽団などの演奏活動も盛ん。さらにストリートミュージシャンが安心して活動できるよう、演奏場所・質の高い演奏環境の確保に対する支援も、市民発の活動として定着している。

こうして、もともと音楽資源が豊富だった川崎市。2004年に市制80周

年を迎え、川崎駅西口に音楽ホール「ミュゼ川崎シンフォニーホール」がオープンしたことをきっかけに、まちのイメージアップ向上のため「音楽のまちづくり」に取り組み始めた。

★川崎のこんな名物★

●最も若い(?)都市

川崎市市民の平均年齢は41.5歳。これは、20指定都市および東京都区部を加えた21都市の中では、最も若い結果となっている。(2010年国勢調査)

●工場夜景

川崎臨海部に展開する京浜工業地帯は、夜を迎えると作業用の明かりが灯り、非日常的な気分が味わえる「工場夜景」として、多くのファンを集めている。



川崎市川崎区砂子、JR川崎駅近くのいさご通り商店街では、毎月一回、「いさご通り街角ミュージック」の名称で、無料コンサートを開催している。「音楽のまち・かわさき」の一つのかたちとして定着した同コンサートの概要や手ごたえについて、商店街で時計・宝飾店を経営し、責任者を務める武藤聡宏氏に伺った。

オールジャンルの音楽を 楽しんでもらう 街角コンサートとして

いさご通り街角ミュージック
責任者
武藤聡宏氏



話は10年ほど前に遡ります。規制の厳しい横浜市からストリートミュージシャンが川崎駅周辺に流入し、ライブをやるようになっていました。当時は川崎市も警察が対処し、若い女の子が交番で始末書を書く事例もありました。当商店街などで構成するTown Management機関(TMO)で、せっかく「音楽のまち」なのだから、状況を改善できないか、というテーマが持ち上がり、アーティストの演奏環境を広げようという案がまとまったんです。少し時間はかかりましたが、いいアーティストを得て4組で2009年に「いさご通り街角ミュージック」をスタートしました。ストリート系のアーティストに場所を提供する構想でしたが、私自身がジャズ、クラシック、ワールドミュージック、演歌・歌謡曲も好きだったこともあり、オールジャンルでの活動へ広げることにして、津軽三味線やR&B、ワールドミュージックほか、多彩なアーティストを迎えるようになりました。現在、アーティストの登録数は約350組(解散・休活中を含む)です。洗足学園音楽大学や昭和音楽大学を出た複数のジャズピアノ、サクソ、ギター奏者、メキシコにルーツを持つラテンギターの日本代表、東京芸大出身のテノール歌手、三味線・長唄奏者、米国カーネギーホールでの演奏経験もある津軽三味線奏者など、多くの実力者が参加しています。

商店街に面する川崎信用金庫本店横の、かわしんふれあい広場を提供してもらい、一段上がったステージを設けて、毎月1回、土日・祝に連続で開催しています。午前11時頃から夕方まで、2日で30組ほど出演してもらいます。出演者はジャンルのバランスを考えて私が声掛けして、プログラムを組み立てます。テーブルやテントもあり、物販もできるようにしています。

当初は音響設備がなく、大変苦労しました。そこで川崎市のイメージアップ事業に応募し、その助成金と商店街の資金で折半して機材をそろえ、環境を充実させました。同事業のコンセプトは「音楽と歴史のクロスストリート」。ここは旧・東海道で、作詞家・佐藤惣之助の生家があった土地柄。惣之助のレリーフと『青い背広で』の歌碑が、かわしんふれあい広場にある縁を活かしました。コンサートでは出演者に惣之助の歌をリクエストする場合があります。旧・東海道を巡るツアー客がコンサート会場に偶然出会うケースもよくあり、ごく普通の方々が、足を止めているような音楽を楽しんでいっ

しやる姿が見られ、活動が浸透したなど、手ごたえを感じています。出演アーティストからは「楽しい」「また出たい」という声が上がって、ファンも確実に増えていると思います。また、定例コンサート以外では、「銀杏並木の音楽界」「アジア交流音楽祭」「モンルージャズフェスinかわさき」「かわさきジャズ」「川崎市民祭り」といったイベントとも連携を図り、こうしたイベントへ登録アーティストを推薦することで、より多くの方に認知していただくように努めています。

コンサート以外では、アーティストが商店街のお店を訪問してコメントし、お店をPRする記事にして東京新聞Todayに掲載する企画なども行い、商店街活性化に一役買ってもらっています。アーティストには、川崎市の行政・企業関係者と知り合う場を設けるなどして、イベント等への参加機会を増やすよう努めています。

今年の9月18日(日)には200回を迎え、記念イベントも考えています。川崎市が、もっともっと音楽を安全に楽しめるまちになっていこう、今後もアーティストが活躍する場を広げたいですね。

いさご通り街角ミュージック

2009年より、多彩な実力派アーティストを迎え、毎月1回、土日・祝に実施している無料コンサート。

場所：川崎信用金庫本店横
「かわしんふれあい広場」
(川崎市川崎区砂子2-11-1)



URL: <http://ameblo.jp/isagomusic/>

川崎市中原区にあるNPO法人カワサキミュージックキャストは、自主財源により、機材レンタルやアーティストのブッキング、イベント企画などを通じて川崎市内の音楽環境の充実やアーティストの自立促進などに努めている。反町充宏理事長に、同法人立ち上げのきっかけや事業内容、今後の展開などについて伺った。

地元アーティストに、質の高い演奏環境を届けていく

NPO法人カワサキミュージックキャスト
理事長
反町充宏氏



▲スタッフの皆さんと反町理事長(左から2番目)

20年近く前、私は、地元の武蔵小杉でバンド活動をやっていました。表現できる場が乏しいため、地域の大人のサポートを得ながら、自分たちで地域の体育館を借りるなどしてライブを行ううちに、裏方の面白さに目覚めました。その後、中原区では地域住民の働きかけで、2000年に区の主催で、地域の若手アーティストが出演する音楽イベント「In Unity」が始まります。これは私の大きな転機となりました。立ち上げから関わり、裏方仕事を引き受け、2002年から委員長を務めます(2015年まで)。この間、私はサラリーマンの傍ら表現の場を広げる活動に熱心に関わり、機材調達の重要性に気がきます。しかしレンタルは高額で、予算が足りない。じゃあ自分で調達しよう、と一生懸命貯金をして、1つずつそろえていきました。2004年には市の「音楽のまち・かわさき」の構想がスタート。イベントも増加し、機材の需要が高まるなかで、私はライブ支援事業の立ち上げを決断、2008年に当法人を発足させました。

事業は主に3つです。1つは楽器・音響機材のレンタルとオペレーターへの派遣で年間400件ほどに及びます。川崎市内各地のイベントなどに提供しますが、当初、演奏環境の整わないイベントが多く、せっかく動員力のあるアーティストがいても、マイク1本、ラジカセ1つといった状況もありました。私たちは機器を一度は無料提供するなどして、音響の重要性を理解していただくことに努めました。コツコツやってきたことで、市内の演奏環境は随分改善されてきたと思います。

もう1つはアーティストのブッキング。平間銀座商店街の石井さんやいさご通り街角ミュージックの武藤さんらの助力も得て、1,000組くらいのアーティストをイベントにマッチするよう紹介しています。「無料で」「楽曲リクエストにに応じて」といった要望もありますが、我々が紹介するアーティストは必ず有料で、オリジナル楽曲でライブできるように交渉しています。ここは譲れず、将来的に川崎市拠点のアーティストが音楽で生計を立てられるしくみを作りたいと考えています。私の一番実現したいことでもあります。

さらに川崎市のイベント事業の委託をはじめとするイベントの企画・制作を行っています。主催者もお客様も喜ぶ内容の充

実を図り、地域住民の交流を促進するような、オープンカフェ形式のイベントも行い、好評を得ています。

おかげさまでリピート率も高く、アーティストから信頼され、ある程度育ってきたアーティストからワンマンライブの指名を受けられることも多く、ありがたく思います。

また川崎を中心にライブハウス、ストリートで活動するアーティストを応援するコンテストイベント「Kawasaki Street Music Battle」にも参画、昨年からは事務局を務めていますが、これは「音楽のまち・かわさき」の代表イベントだと思っています。毎回、特にファイナルのシビれる緊張感が大好きです。昨年はまた、石井さんと一緒に、特別ゲストに歌手の山内恵介さん、コメンテーターに作曲家の水森英夫先生を迎え「川崎国際音楽祭」を開催し、運営に携わりました。カラオケ部門では予選を勝ち抜いた一般の市民の方々が、ミュージアム川崎・シンフォニーホールという素晴らしい舞台上で熱唱し、大いに盛り上がりました。

これからも「音楽のまち・かわさき」に合う質の高いイベントを増やしていけるよう、地道に取り組んでいきます。

NPO法人カワサキミュージックキャスト・活動内容

音楽イベントの企画・制作、音楽活動に真剣に取り組むミュージシャンを支援し、神奈



川県内、特に川崎市内の音楽環境の拡充と芸術文化の振興に寄与することを目的に、2008年発足。

これまでに手掛けた川崎の音楽イベントは「モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき2013 フリーライブ」「Kawasaki Street Music Battle」「アジア交流音楽祭」等多数。

URL: <http://k-m-c.org/>

川崎市中原区、平間銀座商店街でフラワーショップを営む石井雄介氏は、地域イベントの開催やミュージア川崎シンフォニーホール（ミュージア川崎）前などでのフリーライブスペースのコーディネートなどを通じて、若いアーティストに数多くの演奏の場を提供する支援活動を推進してきた。活動のきっかけや内容、支援の背景となった思いなどを語っていただいた。

メジャーへはばたく アーティストを地域で育む

ストリートライブコーディネーター
石井雄介氏



私のストリートミュージシャン支援活動は、まちづくりと商店街の活性化への取り組みがベースになっています。平間銀座商店街では35年間、夏場に6週連続で土曜夜に多彩なイベントを行うサマーフェスタを開催してきました。2003年、地元で音楽に取り組む若い人たちから、発表の場がほしいと相談を受け、サマーフェスタでライブを始めたことがきっかけで、その後も支援を広げて今に至ります。背景には若いアーティストが自らの可能性を広げて将来、大きな舞台へはばたいほしい、そしていつか恩返しではないですが、凱旋ライブをやってほしい、という思いがありました。

サマーフェスタでライブを始めた後、夏に一度のイベントだけではなく、地元のアーティストに普段も安心してライブができる場所を提供してあげたいと思うようになりました。その矢先、翌2004年から川崎市が「音楽のまち・かわさき推進協議会」を発足させました。当時の阿部孝夫川崎市長と会う機会があり、「音楽のまち・かわさき」だからこそ、街中に音楽が流れるよう、ストリートミュージシャンの活動の場を設けたいと提案したところ、場所を見つけたら後押ししようと前向きな言葉をいただきました。私自身が下見してミュージア川崎の2階広場を見つけ、管理事務所と交渉して話はとんとん拍子に進み、ミュージア川崎前でのフリーのストリートライブが実現しました。

ストリートライブは、毎週金曜日の夕方～夜と、土・日曜日の昼間～夕方に行い、約80組の登録アーティストから数組ずつエントリーして行きます。アーティストは必ず私が面接し、音楽の傾向や個性を把握し、スケジュール調整を図っています。またカワサキミュージックキャストの反町充宏さんの協力を得て、機材、電源、備品を事務局でそろえる体制を築き、アーティストが演奏に打ち込めるよう、よりよい環境を整えてきました。ここで頑張っているアーティストには、平間銀座商店街や川崎市内のショッピング施設、都内企業が開催するイベントへの出演を優先紹介しています。

当初、ミュージア川崎のショップ等からクレームもありましたが、今ではショップのホームページで告知してもらうほど、よい関係ができています。12年間積み重ねてきたことで、市民の

中にも若いアーティストを応援しようという気運が高まってきたと手ごたえを感じています。アーティストも皆、「川崎に来てよかった」と言ってくれますね。

ストリートライブ支援の一方で、2005年からは、川崎市内の音楽やイベントなどの関係者が集い、「Kawasaki Street Music Battle!」を開催しています。川崎市内、神奈川県の音楽関連企業・団体の推薦を受けたアーティストが勝ち抜き戦で頂点を目指すコンテストで、私は当コンテストの代表も務めています。皆が手弁当で作上げたもので、ストリートライブから次のステップへの受け皿になると思い、取り組んでいます。当コンテストの拡大を含め、大型のフェスや物販活動も推進し、川崎で育ったアーティストが、ステップアップする機会を広げていければと思っています。

カワサキストリート音楽団

施設等の公認でストリートライブが行えるスペースとして、以下の市内2カ所を、アーティスト登録制により紹介（現登録アーティストは約80組）。

- ・ミュージア川崎ゲートプラザ（川崎市幸区大宮町1310）
日時：金曜17時～・土曜14時～・日曜13時～
 - ・川崎銀座街（川崎市川崎区砂子1-1-12）
日時：土曜15時～・日曜15時～
- URL: <http://www.ks-ongakudan.net/>

Kawasaki Street Music Battle!

川崎を中心にライブハウス、ストリートで活動するミュージシャンを応援するコンテストイベント。推薦により選出された出演者がパフォーマンスを競い合う。

<http://www.arcship.jp/ksmb/>



HMV ラゾーナ川崎店

JR川崎駅西口に直結する「ラゾーナ川崎」は、300超の専門店が構成される大型商業施設であり、週末にはアーティスト、ミュージシャンによるライブイベントが多数開催されることでも有名である。今回は、同施設内のHMV ラゾーナ川崎店の松野翔太店長に最近の店づくりの状況などについて伺った。



- お客様の層について教えてください。

ラゾーナ川崎自体のターゲット層である10～20代の女性がメインのお客様です。また、ショッピングモールという特性上、休日はファミリーでお越しいただけるお客様も多いですね。

-ラゾーナ川崎は、毎週のようにライブイベントが開催されていますが……

ルーファ広場でのイベントは、首都圏からのアクセスが至便のため、お客様からもアーティストサイドからも非常に人気で、土日はほぼ埋まっているような状況ですね。



6月某日、ルーファ広場で開催されたライブの様子

- お店の特徴は？

今、売れているものをきっちりと押さえることももちろんですが、当店はアイドル好きのお客様が比較的多いため、売り場の目立つ場所にアイドルコーナーを充実させています。

また、これからどんどん活躍していきそうな若手アーティストを応援しよう、という企画を考える中で、実は川崎にゆかりのあるアーティストが多いことが判明しました。その結果、地元出



身のスタッフ等からも情報を得て、半年前くらいに川崎ゆかりのアーティストを紹介するコーナーが出来上がりました。この取材のための仕込みではありませんよ(笑)。さらに、スタッフおすすめのジャンルにフィーチャーしたコーナー等も設けています。



-最後に、店長イチオシのアーティスト・作品のご紹介をお願い致します。

川崎出身4人組バンド「sumika」です。活動休養期間を経て、今年の5月に再開後初のミニアルバム作品がリリースされました。お立ち寄りの際はぜひお手に取っていただければと思います。



HMV ラゾーナ川崎店
 神奈川県川崎市幸区堀川町72-1
 ラゾーナ川崎内 Plaza West 4F
 営業時間： 10:00～21:00

川崎音楽のまちめぐり

COLUMN

実は数多くの著名な音楽家とゆかりのある川崎。市内には、音楽とのつながりをあらわすスポットが多数ありました。



かつて日本コロムビアの川崎工場があったことから、旧駅名は「コロムビア前駅」だった。



日本の「レコード発祥の地」として、工場の写真や、ロゴマークの写真を紹介するパネル



「港町十三番地」の譜面をかたどったオブジェもあり、趣向が凝らされている。



川崎工場から誕生した名曲の数々が、パネルによって紹介されている。



この地をイメージした「港町十三番地」は、美空ひばりさんの代表曲。当時のレコードジャケットのモダンさが印象的。



同市出身の歌手・坂本九さんの歌碑



作曲家・古賀政男先生の胸像。「川崎大師讃歌」を作曲、献歌するなど結びつきが強かったとのこと。



「六甲おろし」などの作品で知られる、同市出身の作詞家・佐藤惣之助氏の碑

「第9回CD ショップ大賞 2017」 ～行かなきゃ 会えない 音がある。～ 一次ノミネート作品発表



全国CDショップ店員が選んだ
行かなきゃ 会えない 音がある。
CDショップ大賞

CDショップ大賞実行委員会は「第9回CDショップ大賞2017」一次ノミネート作品を発表した。「行かなきゃ 会えない音がある。」のスローガンのもと、全国のCDショップ店員の目利き・耳利きによって、真に売りたい!聴かせたい!作品を選出するCDショップ大賞。年間2回に分けてノミネート作品を投票・発表し、全ノミネート作品から最終投票によって大賞作品を選出する。このたび、2016年1月1日～6月30日に発売された邦楽オリジナルアルバム(ベスト盤を除く)を対象とする一次ノミネート10作品が選出された。

■「第9回CDショップ大賞2017」一次(前期)ノミネート10作品(アーティスト名50音順)

タイトル名	アーティスト名	発売日	品番	発売元
BASIN TECHNO	岡崎体育	2016/5/18	SECL-1881	ソニー・ミュージックレーベルズ
グッド・バイ	OLEDICKFOGGY	2016/3/9	PX-300	DIWPHALANX
D.A.N.	D.A.N.	2016/4/20	SSWB-002	SSWB
fam fam	never young beach	2016/6/8	ROMAN-005	Roman Label
Butterflies	BUMP OF CHICKEN	2016/2/10	TFCC-86552	トイズファクトリー
透明色のクルージング	fox capture plan feat. Keishi Tanaka	2016/5/11	PWT-022	Playwright
METAL RESISTANCE	BABYMETAL	2016/4/1	TFCC-86546	トイズファクトリー
TWELVE	Mrs. GREEN APPLE	2016/1/13	UPCH-20411	ユニバーサル ミュージック
META	METAFIVE	2016/1/13	WPCL-12294	ワーナーミュージック・ジャパン
Vキシ	レキシ	2016/6/22	VICL-64586	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

二次ノミネート作品は、本年12月31日までに発売された作品を対象に投票を行い選出、2017年年明けに発表を予定。その後、一次・二次のノミネート作品に対し、最終投票を実施し各賞を選出する。大賞および各賞の発表ならびに授賞式は、2017年3月を予定。

詳細は、全日本CDショップ店員組合サイト (<http://www.cdshop-kumiai.jp/>) を参照。

ACA・第5回「著作権を守ろう!ポスターコンクール」作品募集を開始

当協会が加盟する不正商品対策協議会(ACA)は、全国の小・中学生を対象に著作権保護をテーマとした啓発ポスターコンクールの作品募集を開始した。

著作権をはじめとする知的財産権の侵害は、いまや国際的な問題の一つとなっており、侵害の防止には小・中学生といった若年層から、権利保護に対する意識を持つことが重要となる。本コンクールは、ポスター制作を通じて、若年層に著作権に対する保護意識を高めてもらうことを目的として、2012年より実施されており、今回が第5回となる。詳細は、ACAサイト (<http://aca.gr.jp/>) を参照。



昨年度最優秀賞作品ポスター(鹿児島県鹿屋市立第一鹿屋中学校 福原すみれさんの作品)

特報

Special Report

「J-POP SUMMIT 2016」関連動画、 PROMIC.TV で公開中

一般財団法人 音楽産業・文化振興財団（PROMIC）では、日本アーティストを幅広く海外に紹介するための情報発信拠点として、ポータル・サイト「PROMIC.TV」を公開している。同サイト上では、YouTube のチャンネルを通じ、英語圏向けの音楽情報番組「J-POP NEWS」を制作し、情報発信を実施。また、海外でライブやプロモーション活動を行う日本アーティストの情報を Twitter、Facebook 等 SNS で随時紹介し、現地におけるアーティスト活動のバックアップを行っている。

現在、「J-POP NEWS」では、7月22日～24日の期間、米サンフランシスコにて開催された、米国最大級の日本のポップ・カルチャーイベント「J-POP SUMMIT 2016」に関連した最新動画を公開。同イベント内では7月23日・24日にフォートメyson・センター内特別ステージにて音楽ライブが開催され、WORLD ORDER、Silent Siren、水曜日のカンパネラ、GARNiDELiA 等、多数のアーティストが出演した。「J-POP NEWS」では、出演アーティストのインタビューやパフォーマンスがチェック可能となっている。PROMIC および当協会は、「J-POP SUMMIT 2016」の趣旨に賛同し、協賛・後援を行っている。なお、「J-POP SUMMIT 2016」の様子は、来月9月号でレポート予定。

J●POP
SUMMIT
2016



PROMIC.TV (<http://promic.tv/>)

『出張！ IP カルチャー教室』 内にて真正品・模倣品展示

7月16日、東京都中央区教育センター多目的ホールにて、『出張！ IP カルチャー教室』が開催され、同イベント内では真正品、模倣品、海賊版などに関する展示が行われた。

このイベントは東京都中央区教育委員会からの依頼により、公益社団法人 発明協会が幹事を務める国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）第4プロジェクトが、日本弁理士会関東支部の協力を得て行っているものである。毎年、中央区教育委員会が夏休みに開催している小学校科学教室の1コマとして実施しており、今年は中央区内の小学5年生とその保護者23組が参加した。

IP カルチャー教室は、日本弁理士会関東支部から派遣された高橋友和弁理士、原田潤子弁理士、播磨里江子弁理士の3名の講師により、電子紙芝居と工作教室が行われた。

電子紙芝居では、「発明とは何か」「発明は身近に存在していること」「知的財産の大切さ」を、実際の商品などを用いながら、講師が分かりやすく説明するとともに、クイズ形式により、参加者は知的財産の大切さを楽しく学んだ。

続く工作教室では、親子と一緒に、画用紙とビー玉等を用いて、テレビ台等に使われる回転台の工作模型を作成した。見本となる回転台製品の外見を見て、親子で内部構造を想像しながら考えて作成するため、オリジナリティのある内部構造をもつ回転台が完成した。単なる工作ではなく、創造力を働かせ知的財産マインドの醸成を図ることができるテーマは、参加者を始め教育委員会関係者からも好評であった。

また、あわせてIIPPFメンバー各社および関係機関の協力により、ハンドバッグや時計、玩具等の真正品、模倣品・海賊版に関する展示を行い、訪れた親子は真正品と模倣品の見分け方や品質の違い等について、品物を手にとって熱心に比較していた。当協会はIIPPFメンバーとして、音楽CD・DVDの真正品と模倣品の提供を行った。

なお、真正品、模倣品・海賊版に関する展示は、「中央区児童発明くふう展」の開催期間中の9月17日にも、東京都中央区教育センターにて実施を予定している。



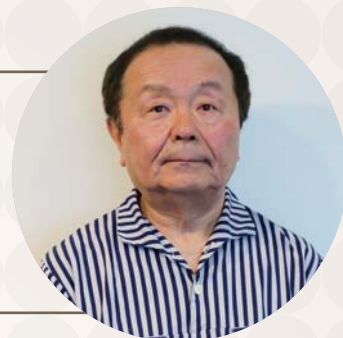
多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

“プロフェッショナル”のスキルを磨き続けて

川原 伸司氏

株式会社ミラクル・バス

シニア・アドバイザー&プロデューサー



❖ 『少年時代』に至るまで

洋楽しか聴いたことのなかった私が、ビクター音楽産業からレコード業界に足を踏み入れたのは1974年のこと。その頃、井上陽水さんのアルバム『氷の世界』が、日本初のミリオンヒットとなりました。業界で“第2の陽水を探せ”という流れができ、駆け出しA&Rの私もレーベルの予算を預かり、責任ある仕事に携われるようになりました。右肩上がりの業界で黄金時代を過ごすことが出来たのは、本当に幸せな体験でした。陽水さんは時代のターニングポイントを作ってくれた偉大なアーティストという意識はありましたが、その頃はまだ直接の接点はありませんでした。

20代の頃、今は亡き大滝詠一さんと知り合って意気投合し、色々な活動を共にしていました。『A LONG VACATION』の制作が始まると、一友人としてスタジオに遊びに行き、音作り、曲作りについて教えられたり、意見を交わしたりしていました。ビクター在籍ながら上司の飯田久彦さん⁽¹⁾の理解もあり、大滝さんと継続して仕事をし、コーラスアレンジや平井夏美名義での作曲もやりました。

そんな中、陽水さんから大滝さんにある仕事が依頼されます。TBSの「筑紫哲也 NEWS23」から依頼を受けた陽水さんが、オープニングジングルにコーラス曲を構想し、共同制作者として大滝さんに声を掛けたんです。最初の打ち合わせに私も同席し、その場で核心部分ができました。翌週レコーディングでしたが、当日大滝さんが急遽欠席となり、私がスタジオを仕切ることになりました。空き時間にボーカル・ブースでピアノを弾いていると、陽水さんがふらっと入ってきて声を掛けてきました。不遜な私の「陽水さんってビートルズしか聴き込んでいませんよね」という軽口に、陽水さんはニヤリと「バレましたか」。茶目っ気たっぷりです、まったく気取ったところがありません。その時私が弾いたビートルズのレパートリー『Till There Was You』のジャズ風のコード進行で曲作りをやるようになり、『TOKYO』という作品が生まれ、交友が始まりました。後に陽水さんから大滝さんに、手紙が来たそうです。自分がいなくても、信頼してすべてを私に任せた大滝さんは素晴らしいプロデューサーだ、と讚える内容だったようです。

その後、陽水さんに荻野目洋子の『ギャラリー』を書いてもらいました。スタジオに顔を出した陽水さんが「ちょっと囲みませんか」と声を掛けてくる。麻雀かと思ったらピアノのことで、暇を見て一緒に曲作りをやりました。10曲はできたかな。自然体でレノン&マッカートニーの作品が大好きな陽水さんと、相性がよかったんでしょう。その後、折々にリリースされていきますが、その中の一曲が後の『少年時代』です。なんとなく陽水さんと私の父の郷里の筑豊地方をイメージさせるため、陽水さんの母校の歌にしてはというアイデアもありましたが、藤子不二雄先生の映画「少年時代」の主題歌とする話がまとまりました。すぐには伸びなかったものの、CM起用をきっかけにロングランのヒット曲になりました。今も夏にはCMで流れ、発表以来クライアントは10社を数えます。大滝さんを介して陽水さんと知り合い、今も仕事させていただいている。非常に貴重な出会いでした。

❖ 制作に求められること

業界の黄金期を生きて感じるのには、ヒットの中心軸に居続ける大変さですね。売上もシビアに求められると、売れ線で作ればいい、と流されがちになる。トレンドが変わっても、ヒットを作り続けるにはどうするか。プロフェッショナルなスキルを磨くことが非常に重要でした。20歳の時、思い立ってバイト代を原資に45万円のピアノを購入、必死に練習してポピュラーピアノを弾けるようにしました。それを下地にサウンドづくりのノウハウを学びましたが、自分を高める努力は今も続いています。

最近の制作部門の人は、勉強不足だと感じます。制作なら、詞、曲、IT…何か自分の専門性を培ってほしい。シビアな時代だからこそ、本格的なプロを目指せば身につくことも大きい。逆境を逆手に自分を磨けば、新時代を拓く力を持つのではないのでしょうか。

アーティストがプロデューサーを兼務するようになった弊害は、あらゆる音源を表に出してしまいがちなこと。残したいからと、何でも入れたらデモテープと変わりません。世に出すべき音楽は、残すべき音楽はどれか、と価値判断の基準を持ってシビアに評価しないと、いいものが際立たない。その価値判断こそ、レコード会社の制作がプロとして担うべきことです。(談)

(1) 2014年6月号「ヒットの裏側」第2回

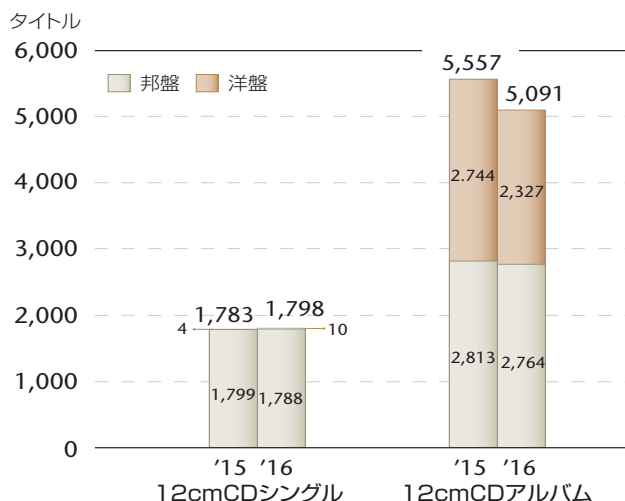
担当アーティスト

井上陽水、大滝詠一、金沢明子、ザ・グッバイ、ダウントOWN、TOKIO、中森明菜、中山美穂ほか多数

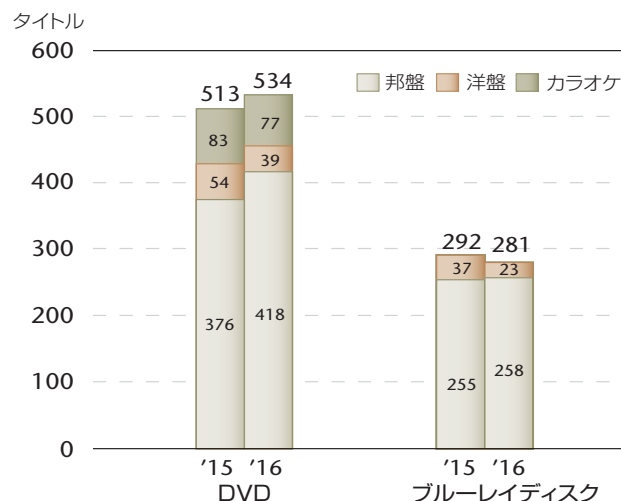
2016年上半期新譜数

2016年（平成28年）上半期（1～6月）販売の新譜タイトル数がまとまった。オーディオは、合計で前年同期比94%の7,116タイトルとなった。また、音楽ビデオについては、合計で前年同期比101%の815タイトルとなった。なお、4年前より集計を開始したブルーレイディスク（音楽）については対前年比96%の281タイトルであった。

● オーディオレコード新譜数



● 音楽ビデオ新譜数



● オーディオレコードジャンル別新譜数

(単位) タイトル

ジャンル	8cmCD	12cmCD		計	アナログ	カセット		合計	
		シングル	アルバム			シングル	アルバム		
邦盤	演歌	0	362	150	512	0	113	4	629
	ポップス・歌謡曲	0	1,177	2,077	3,254	54	3	3	3,314
	軽音楽	0	1	69	70	0	0	0	70
	サウンドトラック	0	0	64	64	0	0	0	64
	民謡・純邦楽	0	6	25	31	0	5	1	37
	教育・教材・童謡・童話	0	0	93	93	0	0	0	93
	アニメーション	0	234	181	415	0	0	0	415
	クラシック	0	0	36	36	0	0	0	36
	カラオケ	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	8	69	77	0	0	0	77
邦盤計	0 (-)	1,788 (101%)	2,764 (98%)	4,552 (99%)	54 (87%)	121 (94%)	8 (160%)	4,735 (99%)	
洋盤	ロック・ポップス・ダンス	0	6	1,026	1,032	6	0	2	1,040
	ジャズ・フュージョン	0	3	290	293	4	0	0	297
	ポピュラーソング	0	0	139	139	16	0	0	155
	サウンドトラック	0	0	34	34	0	0	0	34
	クラシック	0	1	805	806	0	0	0	806
	その他	0	0	33	33	16	0	0	49
	洋盤計	0 (-)	10 (250%)	2,327 (85%)	2,337 (85%)	42 (600%)	0 (-)	2 (200%)	2,381 (86%)
合計	0 (-)	1,798 (101%)	5,091 (92%)	6,889 (94%)	96 (139%)	121 (94%)	10 (167%)	7,116 (94%)	

() 内は対前年比

● 音楽ビデオジャンル別新譜数

ジャンル	ディスク		合計
	DVD	ブルーレイディスク	
邦盤	418	258	676
洋盤	39	23	62
カラオケ	77	0	77
合計	534 (104%)	281 (96%)	815 (101%)

Monthly Production Report

2016年6月度レコード生産実績

6月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比113%の1,772万枚・巻、金額で同121%の220億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比102%の1,307万枚・巻、金額で同111%の157億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比160%の465万枚・巻、金額で同156%の63億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		6月実績						2016年1月～2016年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
8cmCD シングル	邦	3	0	121%	2	0	201%	28	0	149%	19	0	179%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	150%	0	0	146%
	計	3	0	121%	2	0	201%	29	0	149%	19	0	179%
12cmCD シングル	邦	3,177	24	89%	2,597	17	93%	25,422	32	92%	19,429	22	96%
	洋	7	0	3332%	6	0	2871%	111	0	343%	40	0	316%
	計	3,183	24	89%	2,602	17	94%	25,533	32	92%	19,469	22	96%
シングル 計	邦	3,180	24	89%	2,599	17	93%	25,450	32	92%	19,448	22	96%
	洋	7	0	3332%	6	0	2871%	112	0	342%	40	0	314%
	計	3,187	24	89%	2,605	17	94%	25,562	32	92%	19,488	22	96%
12cmCD アルバム	邦	7,915	61	110%	11,004	70	117%	42,488	54	97%	57,543	66	94%
	洋	1,793	14	97%	1,825	12	103%	10,139	13	89%	9,509	11	90%
	計	9,708	74	107%	12,829	82	115%	52,628	67	95%	67,052	76	93%
CD 計	邦	11,095	85	103%	13,603	87	112%	67,938	86	95%	76,992	88	94%
	洋	1,800	14	97%	1,831	12	103%	10,251	13	90%	9,549	11	90%
	計	12,895	99	102%	15,434	98	111%	78,189	99	94%	86,541	99	94%
アナログ ディスク	邦	42	0	133%	80	1	134%	143	0	88%	311	0	109%
	洋	43	0	199%	71	0	165%	175	0	154%	294	0	153%
	計	85	1	160%	151	1	147%	318	0	115%	605	1	127%
カセット テープ	邦	45	0	68%	41	0	68%	399	1	88%	341	0	90%
	洋	1	0	190%	1	0	184%	1	0	399%	2	0	391%
	計	45	0	69%	42	0	69%	400	1	88%	342	0	90%
その他	邦	18	0	73%	29	0	82%	71	0	85%	127	0	98%
	洋	25	0	154%	42	0	113%	92	0	89%	173	0	77%
	計	42	0	106%	71	0	98%	163	0	87%	300	0	84%
合計	邦	11,200	86	103%	13,753	88	112%	68,552	87	95%	77,770	89	94%
	洋	1,868	14	99%	1,945	12	105%	10,519	13	90%	10,018	11	91%
	計	13,068	100	102%	15,698	100	111%	79,071	100	94%	87,788	100	94%

● 音楽ビデオ

		6月実績						2016年1月～2016年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,589	77	160%	3,466	55	152%	21,595	80	95%	22,760	64	96%
	洋	37	1	45%	50	1	46%	371	1	64%	488	1	67%
	計	3,625	78	156%	3,515	55	148%	21,967	81	95%	23,248	65	95%
ブルーレイ ディスク	邦	1,020	22	180%	2,794	44	168%	4,982	18	104%	12,119	34	107%
	洋	9	0	51%	25	0	80%	97	0	99%	283	1	130%
	計	1,028	22	177%	2,819	44	167%	5,079	19	104%	12,402	35	107%
テープ・その他	計	0	0	65%	0	0	73%	1	0	70%	1	0	67%
	邦	4,609	99	164%	6,260	99	159%	26,578	98	97%	34,880	98	99%
	洋	45	1	46%	74	1	54%	469	2	69%	771	2	82%
合計	計	4,654	100	160%	6,334	100	156%	27,047	100	96%	35,651	100	99%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

		6月実績						2016年1月～2016年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計		13,068	74	102%	15,698	71	111%	79,071	75	94%	87,788	71	94%
音楽ビデオ計		4,654	26	160%	6,334	29	156%	27,047	25	96%	35,651	29	99%
合計	邦	15,809	89	115%	20,013	91	123%	95,130	90	96%	112,650	91	96%
	洋	1,913	11	96%	2,019	9	102%	10,988	10	89%	10,789	9	91%
	計	17,722	100	113%	22,032	100	121%	106,118	100	95%	123,439	100	95%

● ビデオレコード（含音楽ビデオ）

		6月実績						2016年1月～2016年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD		6,325	78	144%	7,003	55	117%	42,390	75	115%	48,368	57	96%
ブルーレイディスク		1,779	22	104%	5,719	45	120%	14,166	25	125%	36,346	43	119%
テープ・その他		0	0	81%	0	0	97%	1	0	76%	2	0	76%
合計		8,105	100	133%	12,722	100	119%	56,557	100	118%	84,715	100	105%

● オーディオ/ビデオレコード合計

		6月実績						2016年1月～2016年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計		13,068	62	102%	15,698	55	111%	79,071	58	94%	87,788	51	94%
ビデオレコード計		8,105	38	133%	12,722	45	119%	56,557	42	118%	84,715	49	105%
合計		21,173	100	112%	28,420	100	114%	135,628	100	103%	172,503	100	99%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。
 4. 音楽ビデオ、およびビデオレコードのその他は LD、HD DVD の合計。

音楽ソフト

シングル

邦楽

2ミリオン	翼はいらない	AKB48	2016.06.01	キングレコード
	ヨシ子さん	桑田 佳祐	2016.06.29	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
ゴールド	THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS STARLIGHT MASTER 03 ハイファイ☆デイズ	佐々木千枝 (CV:今井麻夏)、櫻井桃華 (CV:照井春佳)、市原仁奈 (CV:久野美咲)、龍崎薫 (CV:春瀬なつみ)、赤城みりあ (CV:黒沢ともよ)、城ヶ崎莉嘉 (CV:山本希望)、城ヶ崎美嘉 (CV:佳村はるか)	2016.06.22	日本コロムビア
	涙	GENERATIONS from EXILE TRIBE	2016.06.29	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	Beautiful World	V6	2016.06.08	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ

アルバム

邦楽

プラチナ	I SCREAM	Kis-My-Ft2	2016.06.22	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	HIGH & LOW ORIGINAL BEST ALBUM	V.A.	2016.06.15	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	Niche シンドローム	ONE OK ROCK	2010.06.09	A-Sketch
ゴールド	GOLDEN☆BEST 山口百恵 コンプリート・シングルコレクション	山口 百恵	2009.08.19	ソニー・ミュージックダイレクト

洋楽

ゴールド	エモーション	カーリー・レイ・ジェブセン	2015.06.24	ユニバーサル ミュージック
	パーパス	ジャスティン・ビーバー	2015.11.13	ユニバーサル ミュージック

ビデオ

邦楽

プラチナ	関ジャニ∞の元気になるLIVE !!	関ジャニ∞	2016.06.15	ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコーズ)
ゴールド	BIGBANG WORLD TOUR 2015 ~ 2016 [MADE] IN JAPAN	BIGBANG	2016.02.24	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	ONE OK ROCK 2013 "人生×君=" TOUR LIVE & FILM	ONE OK ROCK	2013.10.09	A-Sketch
	ONE OK ROCK 2014 "Mighty Long Fall at Yokohama Stadium"	ONE OK ROCK	2015.04.29	A-Sketch
	ONE OK ROCK 2015 "35xxxv" JAPAN TOUR LIVE&DOCUMENTARY	ONE OK ROCK	2016.04.06	A-Sketch

※日付は発売日

有料音楽配信

シングルトラック

邦楽

ダブル・プラチナ	君がくれた夏	家入 レオ	2015.08.17	JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
	恋音と雨空	AAA	2013.08.28	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
プラチナ	花束を君に	宇多田 ヒカル	2016.04.15	ユニバーサル ミュージック
	Ki・mi・ni・mu・chu	EXILE	2015.11.11	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	未来	コブクロ	2015.11.26	ワーナーミュージック・ジャパン
	Powder Snow ~永遠に終わらない冬~	三代目 J Soul Brothers	2012.11.14	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	C.O.S.M.O.S. ~秋桜~	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2014.10.15	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	風になる	つじあやの	2002.06.26	JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
ゴールド	Mint	安室 奈美恵	2016.05.18	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	僕の言葉ではないこれは僕達の言葉	UVERworld	2015.05.27	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	やさしさを溢れるように	Flower	2016.05.25	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ)
	僕はヘガサス 君はボラリス	MISIA	2014.01.22	ソニー・ミュージックレーベルズ (アリオラジャパン)

洋楽

ゴールド	A WHOLE NEW WORLD	BRAD KANE / LEA SALONGA	2005.11.03	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
------	-------------------	-------------------------	------------	-----------------------

※日付は配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト (アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信 (着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード数)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

※※※3ミリオン以降、100万毎に認定

協会からのお知らせ

第13回東京国際ミュージック・マーケット（13th TIMM）が、今年から中心となる場所を渋谷に移し、10月24日から10月26日の間、開催されます。13th TIMMは合同マーケットJapan Content Showcase（JCS）2016の中で、TIFFCOM 2016 Marketplace for film & TV in Asia、東京国際アニメ祭2016秋（TIAF）と共同で開催されます。JCSは、全世界から日本のコンテンツを求め、バイヤーやメディアが訪れる国際的なマーケットです。

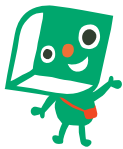
JCSおよび13th TIMMの詳細は随時、以下ページをご確認ください。

東京国際ミュージックマーケット 公式サイト

<http://www.timm.go.jp/jp/>

Japan Content Showcase 2016 公式サイト

<http://www.jcs.tokyo/ja/>（日本語）



エルマークキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.681 2016年8月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明
編集人 原 康晴
発行日 2016年8月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

「音楽のまち」らしく、ゆかりのアーティストや作品が多い川崎。
記事内でもご紹介した、坂本九さん「上を向いて歩こう」、美空ひばりさん「港町十三番地」は駅の発車メロディにも採用されており、川崎との強い結びつきを感じます。
そんなご当地ソングに恵まれた川崎の中でも、とりわけ市民に浸透していると言われる「川崎市民の歌（好きですかわさき愛の街）」は、一度聴いたら忘れられないインパクトで、気づけばつい口ずさんでしまっています。(M)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト (URL: <http://www.riaj.or.jp/>) のお問い合わせページよりお寄せください。